

日韓コイノニア 2023. 2. 26 吉鉉珠牧師 説教原稿

聖書箇所：出エジプト記15：22－27

説教題：マラからエリムへ

人生生きてみますと、自然と歌が口から出て来て、肩で拍子を取りながら踊りたくなるような瞬間があります。

イスラエルの民たちがそうでした。

彼らの行く先を妨げていた紅海（葦の海）が分かれるというとてつもない奇跡を目の当たりにしました。

そして、その別れて出来た道を歩くという不思議な奇跡を体験いたしました。

自分たちを追跡してきたファラオの軍隊が、自分たちの歩いたその海のただ中に投げ込まれ、全滅してしまったという事実を見ました。

この主なる神様の驚くばかりのお働き、奇跡、救いを見て、とてもじゃないけど、じっとなんかしていられません。

全イスラエルの民たちは、歌を歌い、踊り始めました。

出エジプト記15章の前半部には、すべてその歓喜の歌が記されています。

しかし、この歌と踊り、この喜びと歓喜は、たったの3日しか続きません。

### **出エジプト記15：22－24（パワポ）**

マラという所に来て、マラの飲むことの出来ない苦い水と出会いました。

賛美を歌ったその口から、恨みつらみが出てきました。

踊りながら、あたかも世界のすべてを手に入れたかのように幸せを感じていた彼らでしたが、今は、恨みつらみを口にし、苦しみ悩む者となりました。

賛美がたったの3日しか続きませんでした。

現実的な問題を前にして、たった3日で彼らの信仰が揺るぎ始めました。

人間の限界は3日です。

どんなに良いと言われる仕事でも、喜ばしい出来事でも、幸せな気持ちも、恵みを受け感じるのも、長くて3日。

だから、主日礼拝があり、水曜礼拝があるのです。

今現在、皆さんは、歌を（賛美を）歌っているでしょうか？

踊ってしまうほどに、幸せな時を過ごしておられるでしょうか？

それとも、人生のマラに出会い、苦い水を飲むような苦しくて、辛い時を過ごしておられるでしょうか？

病、失敗、経済的な困窮、職場で受ける苦しみと危機。

私の人生に押し寄せるマラの意味が何なのか？ 何をすればいいのか？

### 1. マラは主の試みである

#### 出エジプト記15：25（パワポ）

“試み” — Test

学校で、学生が、子どもたちが受ける試験（テスト）と同じ意味であります。

試験（テスト）が好きな学生は、まずいません。

「試験が好きだ。試験の日が待ち遠しくて仕方ない。なんで毎日、試験が（テストが）ないのだろう？」なんていう人は、誰もいません。

運転免許を取るための試験でさえも嫌なものですし、緊張します。

このように誰も試験（テスト）が好きではありませんが、試験は必ず必要なものです。

なぜか？

その試験を通して、私が勉強について行っていることが出来ているのか、出来ていないのかを知るためです。

どの科目で、ついていけないのかを確認する必要があります。

そのついていけない科目を集中的に勉強して、補っていけば、全体的に成績が上がるようになります。

だから、先生方が試験問題を作り、出すのは、良い目的と良い動機を持ってです。

神様が私たちに、試験を、試みをお与えになる理由も目的も同じです。

成長と成熟、益とするためです。

マラは、試み（試験）です。

では、何をテストしたいと思っておられるのでしょうか？

### 出エジプト記15：26（パワポ）

私たちが、神様の御言葉通りに従うのか、従わないのかをテストしておられます。

神様の命令とその掟を守っているのか、守っていないのかをテストしておられます。

ひと言で言いますと、「御言葉従順テスト」です。

神様は、どんなことがあっても、私たちが信仰を守り、聖書の御言葉通りに生活しているのかしていないのかを見たいと思っておられます。

それを試験したいと、テストしたいと思っておられます。

人生のマラに出会った時、信仰が揺るぎ、神様を恨み、不平不満を吐露しながら不信仰に陥るのか、それとも、変わらず神様を信じ続け、信頼し、御言葉通りに生きるのか生きないのかをテストされます。

だから、「キリスト者にとって、困難は困難ではなく、信仰の問題」です。

困難に出会っても揺るがされることのない信仰、変わることのない信仰を持ち、その信仰を表すことが、神の前において重要なことです。

神様は、そんな信仰の人を尊んでくださいます。 祝福してくださいます。

私たちの信仰を確認するためにお与えになる神様のテストを、皆さん、ぜひ合格してください。

## 2, マラに置かれた時に、やるべきこと

### 出エジプト記15：25（パワポ）

マラに置かれた時にやるべきことは、神様を求めることです。

神様に叫び求めることです。

何も出来ないように思える時でも、やらなければならないことが、神様を求め、神様に叫び求めることです。

人を求め、人に叫び求めても、何にもなりません。

神様を求めなければなりません。 神様を叫び求めなければなりません。

### エレミヤ書33：3 (パワポ)

「わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。」

モーセが叫び求めた時、その応答として、“一本の木”を示してくださいました。

この木は何でしょうか？

十字架ではありません。

この木は、沙漠にあった一つの平々凡々な木です。

なのに、この木が重要な役割を担います。

この木を苦い水の中に投げ込みますと、水が甘くなりました。

飲める水へと変わりました。

この木は、「神様が見せ下さった解決策」を意味しております。

神様の不思議な解決策。考えも及ばない解決策です。

神様に叫び、神様の助けを求める者に示して下さる「神様の解決策」であります。

祈る者に与えて下さる祝福です。

モーセの祈りに応えて下さり、神様の解決策を示して下さった神様は、神様ご自身がどう  
いう神様なのかを教えてくださいました。

### 出エジプト記15：26 (パワポ)

「癒して下さる神」です。(エホバ、ロペ。 エホバ、ラバ)

「癒す」と言いますと、肉体の癒し、病の癒しばかりを思い浮かべるかもしれません。

もちろん、癒す神は、私たちの弱い部分、私たちの病を癒して下さる神でもあられます。

しかし、それだけではありません。

神様の癒しは、体にのみ表れるわけではありません。

置かれている状況(苦い水を甘い水へと癒して下さったように)、あらゆる関係も、家庭も、この国も癒して下さる神であられます。

3, エリムを準備して待つておられる神様を信じましょう。

神様に叫び求める者たちのために準備しておられる祝福は、「癒し」だけではありません。

### 出エジプト記15：27（パワポ）

神様は、エリムを準備してくださっています。

マラから南方に約8 km、9 kmほど行ったところにエリムがあります。

遠いところではなく、比較的（とても）近いところですよ。

私たちの抱える問題や苦しみは、比較的（とても）近いところに、神様の用意しておられる祝福があります。

目の前にすぐには見えないので、マラだけがとても大きく見えてしまいます。

マラだけ見て、辛く苦しんではいないでしょうか？

それゆえに、忍耐して待つことが出来なくなってしまいます。

覚えていてください。

私たちの問題や私たちの苦しみは、とても近いところに、神様が用意しておられる祝福があります。

エリムはまだ見えていなくても、私たちのために準備されています。

信じてください。

マラだけ見て、生きないでください。

マラに出会ったとしても、もう少しだけ忍耐しましょう。

信仰で忍耐しましょう。

そして、もう一度、今一度、叫び求めましょう。

そして、癒しの恵みを享受し、エリムの祝福を享受致しましょう。